

# 第19回食育推進全国大会出展

大阪府農業会議は、大阪府農業経営者会議と連携し、6月1～2日にかけて大阪市・大阪南港ATCホールで開催された「ワクワクEXPO with 第19回食育推進全国大会」にブースを出展。都市農業の果た

す役割と農地保全に向けた農業委員会の取り組みについてPRした。大阪での開催は第1回大会以来18年ぶりで、のべ約3万人が来場した。  
令和4年策定の「地域の農地を活かし、持続可能な大阪農業



学童農園の展示パネル(吹田市)



農地パトロールの展示パネル(富田林市)



防災協力農地の展示パネル(寝屋川市)

を創る運動」では、都市農業・農地のもつ多様な機能に対する府民理解を促進することとしている。これに基づき、都市農業や、食の根源である農地を守っている大阪府農業委員会組織の取り組みをPRするために、ブースを出展した。

## 経営者会議は農産物を展示

### 適正な価格転嫁も啓発

大阪府農業経営者会議(中筋秀樹会長)は、食育推進全国大会で、組織の取り組みや、農業をめぐる生産資材価格の高騰等

「農地パトロール」では、農業委員会が市長とともに巡回する富田林市の写真を紹介。農地は、食料供給や環境保全において重要な役割を担うことに触れ、農委では、地域の大切な農地が保全されるよう、管内の全農地を確認していることを説明した。

作物を育てる体験を通じて、子どもにも「食」の大切さを理解させ、正しい食習慣や知識を身に付けることが目的であるとした。「防災協力農地」では、平成15年に府内で初めて導入した寝屋川市の事例を紹介。日本各地で災害が相次ぐ中で、農地の災害時の避難空間としての役割が見直され、防災機能が多面的機能の一つとして評価されていることを説明した。(沼田)

当日は、都市農業が有する多様な機能の解説とともに、「農地パトロール」「学童農園」「防災協力農地」の3つについて、写真及び説明パネルで紹介。

の課題についてのパネル展示、会員の生産する農産物の展示を行った。

取り組み紹介では、農業者の自主組織として誕生し、

会員が知識や技術の向上など自己研鑽に努めていることを説明。

農業をめぐる課題に係るパネルでは、生産資材価格が高騰していることや出荷に際して各流通過程で経費が発生していることに触れ、適切な価格設定が重要であることを訴えた。

会員が生産した農産物の展示では、泉州水なすや大阪ナス、コマツナやシユンギク、花卉類など



会員の生産した農産物は来場者たちの目を引いた

計16品目を展示。大阪で多様な農産物が生産されていることをPRし、老若男女さまざまな来場者が足を止めた。(沼田)